

NWQグローバル厳選証券 (米国株プラス) 毎月分配型 (愛称：ダブルチャンス)

運用報告書(全体版)

第37期 (決算日 2022年10月17日)
第38期 (決算日 2022年11月17日)
第39期 (決算日 2022年12月19日)
第40期 (決算日 2023年 1月17日)
第41期 (決算日 2023年 2月17日)
第42期 (決算日 2023年 3月17日)

(作成対象期間 2022年 9月21日～2023年 3月17日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、実質的に、世界の米ドル建資産に投資を行なうとともに、米国株価指数の先物取引を活用することにより、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先 (コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	2019年9月3日～2024年9月17日
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	スター・ヘリオス・ピーエルシーが発行する債券(米ドル建)
株式組入制限	無制限
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。3月、6月、9月、12月の計算期末については、上記継続分配相当額に付加して分配を行なう場合があります。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。また、第1、第2および第3計算期末には、収益の分配は行ないません。

最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			公 社 債 率 組 入 比 率	純 資 産 額
	(分 配 落)	税 分 配 込 金	期 騰 落 中 率		
	円	円	%	%	百万円
13期末 (2020年10月19日)	10,662	30	1.5	99.3	403
14期末 (2020年11月17日)	10,827	30	1.8	99.2	418
15期末 (2020年12月17日)	10,490	330	△ 0.1	99.1	409
16期末 (2021年 1 月18日)	10,555	30	0.9	99.5	410
17期末 (2021年 2 月17日)	10,755	30	2.2	99.2	396
18期末 (2021年 3 月17日)	10,653	260	1.5	98.5	271
19期末 (2021年 4 月19日)	10,760	30	1.3	98.3	264
20期末 (2021年 5 月17日)	10,767	30	0.3	98.4	258
21期末 (2021年 6 月17日)	10,796	210	2.2	99.0	250
22期末 (2021年 7 月19日)	10,755	30	△ 0.1	98.0	192
23期末 (2021年 8 月17日)	10,711	30	△ 0.1	98.4	174
24期末 (2021年 9 月17日)	10,676	160	1.2	99.6	169
25期末 (2021年10月18日)	10,965	30	3.0	98.9	154
26期末 (2021年11月17日)	11,046	30	1.0	98.2	155
27期末 (2021年12月17日)	10,803	140	△ 0.9	99.1	152
28期末 (2022年 1 月17日)	10,811	30	0.4	99.1	152
29期末 (2022年 2 月17日)	10,460	30	△ 3.0	99.3	151
30期末 (2022年 3 月17日)	10,426	100	0.6	99.0	152
31期末 (2022年 4 月18日)	10,996	30	5.8	98.4	162
32期末 (2022年 5 月17日)	10,480	30	△ 4.4	97.9	152
33期末 (2022年 6 月17日)	9,989	30	△ 4.4	97.5	134
34期末 (2022年 7 月19日)	10,696	30	7.4	98.2	140
35期末 (2022年 8 月17日)	11,484	30	7.6	98.3	148
36期末 (2022年 9 月20日)	10,971	150	△ 3.2	98.3	148
37期末 (2022年10月17日)	10,405	30	△ 4.9	98.5	141
38期末 (2022年11月17日)	10,688	30	3.0	98.3	142
39期末 (2022年12月19日)	10,363	30	△ 2.8	99.0	137
40期末 (2023年 1 月17日)	10,110	30	△ 2.2	97.7	123
41期末 (2023年 2 月17日)	10,538	30	4.5	97.4	113
42期末 (2023年 3 月17日)	9,975	30	△ 5.1	99.1	107

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

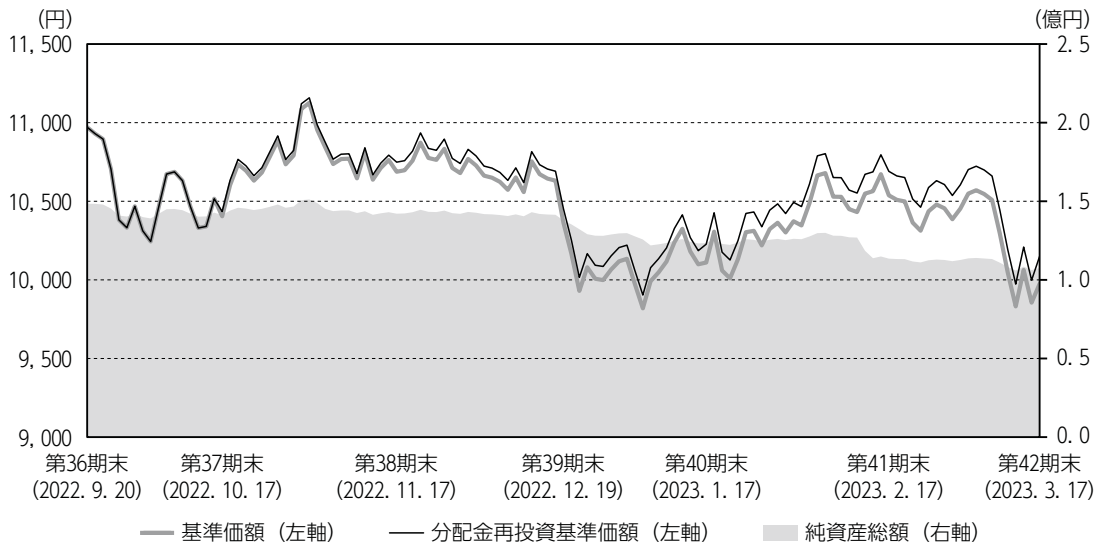
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第37期首：10,971円

第42期末：9,975円（既払分配金180円）

騰落率：△7.5%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

世界の米ドル建資産への投資と米国株価指数先物取引の投資効果享受する、パフォーマンス

ス連動債券であるスター・ヘリオス・ピーエルシーが発行する債券（米ドル建）に投資した結果、投資適格社債やハイイールド債券などの小幅下落および米ドル円為替相場下落（円高）がマイナス要因となり、基準価額は下落しました。なお、S & P 500指数先物に投資したことは軽微な影響にとどまりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

NWQグローバル厳選証券（米国株プラス）毎月分配型

	年 月 日	基 準 価 額		公 組 入 社 比 債 率
			騰 落 率	
第37期	(期 首) 2022年 9 月20日	円 10, 971	% —	% 98. 3
	9 月末	10, 312	△ 6. 0	97. 4
	(期 末) 2022年10月17日	10, 435	△ 4. 9	98. 5
第38期	(期 首) 2022年10月17日	10, 405	—	98. 5
	10月末	11, 088	6. 6	98. 2
	(期 末) 2022年11月17日	10, 718	3. 0	98. 3
第39期	(期 首) 2022年11月17日	10, 688	—	98. 3
	11月末	10, 679	△ 0. 1	97. 9
	(期 末) 2022年12月19日	10, 393	△ 2. 8	99. 0
第40期	(期 首) 2022年12月19日	10, 363	—	99. 0
	12月末	9, 973	△ 3. 8	97. 5
	(期 末) 2023年 1 月17日	10, 140	△ 2. 2	97. 7
第41期	(期 首) 2023年 1 月17日	10, 110	—	97. 7
	1 月末	10, 302	1. 9	97. 7
	(期 末) 2023年 2 月17日	10, 568	4. 5	97. 4
第42期	(期 首) 2023年 2 月17日	10, 538	—	97. 4
	2 月末	10, 479	△ 0. 6	96. 9
	(期 末) 2023年 3 月17日	10, 005	△ 5. 1	99. 1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2022. 9. 21 ~ 2023. 3. 17)

■海外金融市況

海外金融市場では、株式市場および債券市場ともにおおむね横ばいの動きとなる中、保有している銘柄はそれぞれまちまちな動きとなりました。

海外株式市場は、当作成期首より、予想以上のインフレ率の上昇や英国の財政悪化懸念などで欧米の金利が上昇したこと、企業業績の見通しの下方修正が相次いだことなどが嫌気され、2022年10月半ばにかけて下落しました。11月末にかけては、英国市場の混乱が収束して欧米の金利上昇が一服したことや、米国のインフレ率が予想を下回ったことなどが好感されて上昇しましたが、年末にかけては、米国の景況感や企業業績の悪化が懸念されて下落しました。2023年に入ると、賃金上昇率の伸びが鈍化しF R B（米国連邦準備制度理事会）の利上げペースの減速が期待されたことなどから再び上昇に転じましたが、2月以降は予想を上回る経済指標の発表が相次ぎ金利が上昇したことなどから、当作成期末にかけて株価は下落しました。当作成期を通しては、おおむね横ばいの動きとなりました。

海外債券市場は、当作成期首より、堅調な労働市場に加えてC P I（消費者物価指数）が予想を上振れたことなどから金融引き締めが加速するとの観測が強まり、金利は上昇（債券価格は下落）しました。また、英国で大規模な財政政策が発表され同国の金利が急上昇したことも、世界的な金利上昇圧力となりました。2022年11月には、C P Iが予想を下振れたことで長期のインフレ期待が低下したことや、世界的な景気減速懸念が高まったことなどから、金利は低下しました。12月は、F R Bが2023年末の政策金利見通しを上方修正したことや日銀が想定外の政策修正を行ったことで、世界的な金融引き締めが意識されたことなどから、金利は上昇しました。2023年1月は、米国の雇用統計において賃金の伸びが予想を下回ったことや、物価指数においてインフレ鈍化傾向が確認されたことなどが金利低下材料となり、金利は低下しました。2月には、労働市場をはじめ発表された経済指標が軒並み強い結果となり、さらなる金融引き締め観測が織り込まれたことで金利は上昇に転じ、1月の金利低下が巻き戻される格好となりましたが、3月には米国地方銀行の経営破綻により金融機関をめぐる懸念が高まったことなどから、再び金利低下が進みました。当作成期を通しては、金利はおおむね横ばいとなりました。

■為替相場

米ドル円為替相場は下落（円高）しました。

米ドルの対円為替相場は、当作成期首より、F R B（米国連邦準備制度理事会）が大幅な金融引き締めを決定したのに対し、日銀は金融緩和政策の維持を決定したことで、円安米ドル高が進行し

ました。これを受けて日本政府・日銀は円買い介入を実施しましたが、米国金利が引き続き上昇し日米金利差が意識されたことで、円安米ドル高基調のまま推移しました。2022年11月に入ると、インフレ率の低下期待などから米国金利が低下したことで日米金利差の縮小が意識され、円高米ドル安に転じました。12月は、日銀が想定外の政策修正を行ったことで金融緩和政策の転換などが意識され、日本の長期金利が大きく上昇するとともに円高米ドル安が進行しました。2023年1月には、日銀が金融緩和政策の維持を決定したことで一時的に円安米ドル高が進行する局面もありましたが、日米金利差の縮小などにより円高米ドル安基調が継続しました。2月に入り、堅調な米国の経済指標を受けて米国金利が大きく上昇したことで、円安米ドル高に転じました。3月は、信用不安の拡大により米国金利が大きく低下したことや、リスク回避による円買い需要の高まりなどから、円高米ドル安となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

世界の米ドル建資産への投資と米国株価指数先物取引の投資効果を楽しむ、パフォーマンス連動債券であるスター・ヘリオス・ピーエルシーが発行する債券（米ドル建）への投資割合を高位に維持し、信託財産の成長をめざして運用を行います。

ポートフォリオについて

(2022. 9. 21 ~ 2023. 3. 17)

世界の米ドル建資産への投資と米国株価指数先物取引の投資効果を楽しむ、パフォーマンス連動債券であるスター・ヘリオス・ピーエルシーが発行する債券（米ドル建）への投資割合を高位に維持しました。

同債券は、実質的にケイマン籍の外国投資信託「グローバル・マルチ・ストラテジーヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（無分配クラス）」（以下、「フレキシブル・インカム・ファンド」といいます。）に投資するとともに、S & P 500指数先物を対象としたスワップ取引を通じて、米国株価指数先物に対する投資効果を楽しみます。S & P 500指数先物ポジションは、以下のルールに基づいた「逆張り戦略」にて構築されました。

2019年9月3日（当ファンド設定日）以降のS & P 500指数（配当込み）の最高値から前営業日までの下落率を日々計測し、S & P 500指数先物の組入比率が決定されます。

- ・ 最高値からの下落率が5 %に満たない場合、組入比率は0 %です。
- ・ 最高値からの下落率が5 %以上になった場合、当該下落率の2 倍程度に相当する組入比率となります。
- ・ 以降、最高値からの下落率が拡大した場合、日々、当該下落率の2 倍程度に相当する組入比率に調整されます（組入比率の上限は100%です。）。
- ・ 株価が反転しても過去の最高値に達するまで、先物の組入比率は維持されます。
- ・ 過去の最高値に達した場合、先物取引は解消され、組入比率は0 %となります。

当作成期首において、S & P 500指数先物の実質目標組入比率は45.9%程度でした。2022年10月中旬にS & P500指数（配当込み）は最高値からの下落率が最大24.4%程度に達したため、目標組入比率は48.9%となりました。その後S & P 500指数（配当込み）はやや反発に転じたものの、最高値は更新していないため、同程度の目標組入比率で当作成期末を迎えました。

（ご参考）フレキシブル・インカム・ファンドの組入上位銘柄

銘柄名	資 産 名	比 率
HP ENTERPRISE 6.35 10/15/45	投資適格社債	2.2%
VIACOM INC 6 7/8 04/30/36	投資適格社債	1.5%
EMERA INC 6 3/4 06/15/76	非投資適格社債	1.5%
GENERAL MOTORS C 6.6 04/01/36	投資適格社債	1.4%
JPMORGAN CHASE 6 3/4 PERP	優先証券	1.3%
TRIPADVISOR INC 7 07/15/25	非投資適格社債	1.2%
GOODYEAR TIRE 5 1/4 07/15/31	非投資適格社債	1.2%
VISTRA CORP 8 PERP	優先証券	1.1%
REGAL REXNORD 6.4 04/15/33	投資適格社債	1.1%
AT&T INC Float 06/12/24	非投資適格社債	1.1%

（注1）上記データは2023年2月28日現在のものです。

（注2）比率はフレキシブル・インカム・ファンドの純資産に対する比率です。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第37期	第38期	第39期	第40期	第41期	第42期
	2022年 9月21日 ～2022年10月17日	2022年10月18日 ～2022年11月17日	2022年11月18日 ～2022年12月19日	2022年12月20日 ～2023年 1月17日	2023年 1月18日 ～2023年 2月17日	2023年 2月18日 ～2023年 3月17日
当期分配金(税込み) (円)	30	30	30	30	30	30
対基準価額比率 (%)	0.29	0.28	0.29	0.30	0.28	0.30
当期の収益 (円)	30	30	30	30	30	30
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	2,329	2,343	2,348	2,354	2,370	2,379

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第37期	第38期	第39期	第40期	第41期	第42期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 41.62円	✓ 43.49円	✓ 35.50円	✓ 35.91円	✓ 46.23円	✓ 38.39円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	994.78	995.78	996.73	998.21	999.24	1,000.15
(d) 分配準備積立金	1,323.22	1,333.85	1,346.39	1,350.42	1,355.30	1,370.63
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	2,359.63	2,373.12	2,378.63	2,384.55	2,400.78	2,409.18
(f) 分配金	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	2,329.63	2,343.12	2,348.63	2,354.55	2,370.78	2,379.18

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

世界の米ドル建資産への投資と米国株価指数先物取引の投資効果を楽しむ、パフォーマンス連動債券であるスター・ヘリオス・ピーエルシーが発行する債券（米ドル建）への投資割合を高位に維持し、信託財産の成長をめざして運用を行います。

1 万口当りの費用の明細

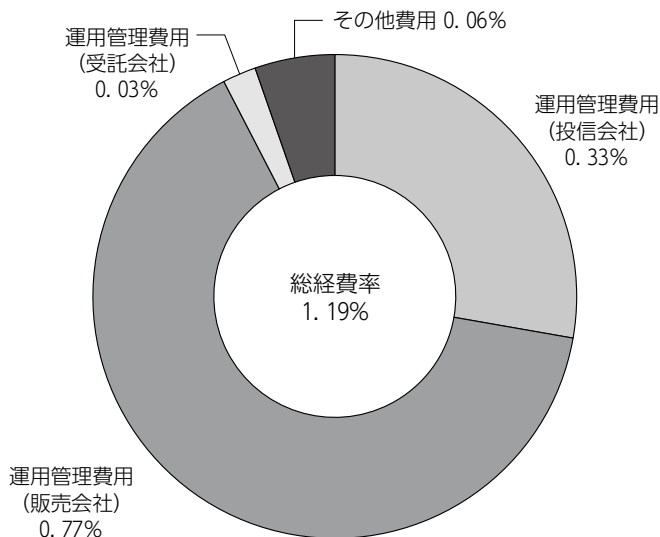
項 目	第 37 期～第 42 期 (2022. 9. 21～2023. 3. 17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	57円	0. 549%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は 10, 463円です。
(投 信 会 社)	(17)	(0. 161)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(39)	(0. 375)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0. 013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	3	0. 031	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(3)	(0. 024)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 003)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	61	0. 580	

- (注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
- (注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
- (注 3) 各比率は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して 100 を乗じたもので、小数点第 3 位未満を四捨五入してあります。
- (注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1 万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.19%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料、有価証券取引税および投資対象とする連動債券にかかる費用等を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

*当ファンドでは、上記のほか投資対象とする連動債券において次の費用がかかります。
純資産総額に対して年率0.83%（税込）程度、その他各種費用等

NWQグローバル厳選証券（米国株プラス）毎月分配型

■売買および取引の状況
公 社 債

(2022年9月21日から2023年3月17日まで)

決 算 期			第 37 期 ～ 第 42 期	
			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	社債券	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル
			54	252
			(	—)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 社債券には新株予約権付社債券（転換社債券）は含まれておりません。
(注4) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
公 社 債

(2022年9月21日から2023年3月17日まで)

第 37 期 ～ 第 42 期			
買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
千円		千円	
Star Helios Plc（アイルランド）- floating - 2024/8/23	7,369	Star Helios Plc（アイルランド）- floating - 2024/8/23	33,907

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
(1)外国（外貨建）公社債（通貨別）

作 成 期		第 42 期 末						
区 分	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うちＢＢ格 以下組入 比 率	残存期間別組入比率		
		外 貨 建 金 額	邦貨換算金額			5 年以上	2 年以上	2 年未満
	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	1,040	797	106,536	99.1	—	—	—	99.1

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

第 42 期 末							
区 分	銘 柄	種 類	年利率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
アメリカ	Star Helios Plc	社 債 券	% —	千アメリカ・ドル 1,040	千アメリカ・ドル 797	千円 106,536	2024/08/23

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
(注3) クーボンが変動するため、年利率は「—」で表記しています。

■投資信託財産の構成

2023年 3月17日現在

項 目	第 42 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	106,536	98.7
コール・ローン等、その他	1,378	1.3
投資信託財産総額	107,914	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月17日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝133.54円、1ユーロ＝141.71円です。
(注3) 第42期末における外貨建純資産（106,560千円）の投資信託財産総額（107,914千円）に対する比率は、98.7%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年10月17日)、(2022年11月17日)、(2022年12月19日)、(2023年 1月17日)、(2023年 2月17日)、(2023年 3月17日) 現在

項 目	第37期末	第38期末	第39期末	第40期末	第41期末	第42期末
(A)資産	141,788,137円	142,589,673円	138,369,234円	123,865,525円	118,824,266円	107,914,159円
コール・ローン等	2,515,441	2,822,621	1,883,301	3,185,679	8,139,754	1,244,455
公社債（評価額）	139,195,557	139,679,192	136,385,644	120,566,904	110,561,472	106,536,075
その他未収収益	77,139	87,860	100,289	112,942	123,040	133,629
(B)負債	527,888	539,638	542,557	483,514	5,337,032	425,125
未払収益分配金	407,299	398,711	398,991	366,108	323,072	323,285
未払解約金	—	—	—	—	4,889,817	—
未払信託報酬	119,727	139,064	140,686	113,711	119,592	96,594
その他未払費用	862	1,863	2,880	3,695	4,551	5,246
(C)純資産総額（A－B）	141,260,249	142,050,035	137,826,677	123,382,011	113,487,234	107,489,034
元本	135,766,502	132,903,740	132,997,285	122,036,038	107,690,697	107,761,844
次期繰越損益金	5,493,747	9,146,295	4,829,392	1,345,973	5,796,537	△ 272,810
(D)受益権総口数	135,766,502口	132,903,740口	132,997,285口	122,036,038口	107,690,697口	107,761,844口
1万口当り基準価額（C／D）	10,405円	10,688円	10,363円	10,110円	10,538円	9,975円

* 当作成期首における元本額は135,322,107円、当作成期間（第37期～第42期）中における追加設定元本額は948,661円、同解約元本額は28,508,924円です。
* 第42期末の計算口数当りの純資産額は9,975円です。
* 第42期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は272,810円です。

NWQグローバル厳選証券（米国株プラス）毎月分配型

■損益の状況

第37期	自2022年 9 月21日	至2022年10月17日	第39期	自2022年11月18日	至2022年12月19日	第41期	自2023年 1 月18日	至2023年 2 月17日
第38期	自2022年10月18日	至2022年11月17日	第40期	自2022年12月20日	至2023年 1 月17日	第42期	自2023年 2 月18日	至2023年 3 月17日
項 目	第37期	第38期	第39期	第40期	第41期	第42期		
(A) 配当等収益	686, 012円	599, 320円	619, 389円	556, 809円	510, 714円	516, 774円		
受取利息	672, 471	588, 835	607, 058	544, 882	501, 801	506, 190		
その他収益金	13, 612	10, 580	12, 429	11, 972	8, 939	10, 589		
支払利息	△ 71	△ 95	△ 98	△ 45	△ 26	△ 5		
(B) 有価証券売買損益	△ 7, 841, 926	△ 3, 721, 245	△ 4, 396, 535	△ 3, 156, 738	△ 4, 548, 243	△ 6, 163, 563		
売買益	5, 461, 047	12, 184, 282	—	4, 173, 687	4, 975, 701	—		
売買損	△ 13, 302, 973	△ 8, 463, 037	△ 4, 396, 535	△ 7, 330, 425	△ 427, 458	△ 6, 163, 563		
(C) 信託報酬等	△ 120, 923	△ 153, 545	△ 147, 161	△ 118, 458	△ 127, 185	△ 102, 981		
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 7, 276, 837	△ 4, 167, 020	△ 3, 924, 307	△ 2, 718, 387	△ 4, 931, 772	△ 5, 749, 770		
(E) 前期繰越損益金	11, 293, 844	3, 530, 959	7, 299, 263	2, 727, 713	△ 314, 602	4, 294, 098		
(F) 追加信託差損益金	1, 884, 039	1, 847, 027	1, 853, 427	1, 702, 755	1, 502, 439	1, 506, 147		
(配当等相当額)	(13, 505, 886)	(13, 234, 324)	(13, 256, 263)	(12, 181, 793)	(10, 760, 959)	(10, 777, 846)		
(売買損益相当額)	(△ 11, 621, 847)	(△ 11, 387, 297)	(△ 11, 402, 836)	(△ 10, 479, 038)	(△ 9, 258, 520)	(△ 9, 271, 699)		
(G) 合計 (D + E + F)	5, 901, 046	9, 545, 006	5, 228, 383	1, 712, 081	6, 119, 609	50, 475		
(H) 収益分配金	△ 407, 299	△ 398, 711	△ 398, 991	△ 366, 108	△ 323, 072	△ 323, 285		
次期繰越損益金 (G + H)	5, 493, 747	9, 146, 295	4, 829, 392	1, 345, 973	5, 796, 537	△ 272, 810		
追加信託差損益金	1, 884, 039	1, 847, 027	1, 853, 427	1, 702, 755	1, 502, 439	1, 506, 147		
(配当等相当額)	(13, 505, 886)	(13, 234, 324)	(13, 256, 263)	(12, 181, 793)	(10, 760, 959)	(10, 777, 846)		
(売買損益相当額)	(△ 11, 621, 847)	(△ 11, 387, 297)	(△ 11, 402, 836)	(△ 10, 479, 038)	(△ 9, 258, 520)	(△ 9, 271, 699)		
分配準備積立金	18, 122, 734	17, 906, 683	17, 979, 907	16, 552, 287	14, 770, 206	14, 860, 714		
繰越損益金	△ 14, 513, 026	△ 10, 607, 415	△ 15, 003, 942	△ 16, 909, 069	△ 10, 476, 108	△ 16, 639, 671		

(注 1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
(注 2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
(注 3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第37期	第38期	第39期	第40期	第41期	第42期
(a) 経費控除後の配当等収益	565, 089円	578, 023円	472, 228円	438, 351円	497, 868円	413, 793円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	13, 505, 886	13, 234, 324	13, 256, 263	12, 181, 793	10, 760, 959	10, 777, 846
(d) 分配準備積立金	17, 964, 944	17, 727, 371	17, 906, 670	16, 480, 044	14, 595, 410	14, 770, 206
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	32, 035, 919	31, 539, 718	31, 635, 161	29, 100, 188	25, 854, 237	25, 961, 845
(f) 分配金	407, 299	398, 711	398, 991	366, 108	323, 072	323, 285
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	31, 628, 620	31, 141, 007	31, 236, 170	28, 734, 080	25, 531, 165	25, 638, 560
(h) 受益権総口数	135, 766, 502口	132, 903, 740口	132, 997, 285口	122, 036, 038口	107, 690, 697口	107, 761, 844口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金（税込み）	第37期	第38期	第39期	第40期	第41期	第42期
	30円	30円	30円	30円	30円	30円

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。 ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。 ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。 ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
--